

日連発第 26-615 号
2026 年 9 月 15 日

ボーイスカウト都道府県連盟
理 事 長 各 位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
社会共創委員会 委員長 川 瀬 政 美
事務局長 中 橋 邦

「地域連携ハンドブック 2026（仮称）」 掲載事例の募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本連盟社会共創委員会では、2026 年 11 月発行予定の「地域連携ハンドブック 2026（仮称）」の編集を進めています。

本ハンドブックでは、全国の団・地区・県連盟ですでに行われている地域とのさまざまな連携を紹介し、新たな一歩を踏み出すためのヒントを届けたいと考えています。

そこで、地域、学校、企業、行政、NPO・各種団体などと連携して行っている取組事例を幅広く募集いたします。

県連盟でこのスカウト運動の拡大を図るため、ご周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

募集内容：団・地区・県連盟が、企業、学校、自治体、NPO 等と関わりながら行っている取組事例。

応募期間：2026 年 9 月 10 日（木）～10 月 5 日（月）

応募方法：応募フォームより、取組の名称、連携している相手、取組の概要（200～400 字程度）などをお知らせください。

応募フォーム：<https://forms.gle/QGC8DmryTYGAB19c6>

以上

この件についてのお問い合わせ・連絡先：事務局 社会共創委員会担当(渋谷・清水)

E-mail：hello@scout.or.jp TEL：03-6913-6262

「地域連携ハンドブック 2026(仮称)」掲載事例 募集要項

開催の目的

日本連盟社会共創委員会では、2026年11月発行予定の「地域連携ハンドブック 2026(仮称)」の編集を進めています。

日本連盟中長期計画重点施策 1-1-1 では、2032年までに目指す姿として、「地区、県連盟には、地域連携を担当する委員会(者)が設置され、特に地域や学校、企業との連携を構築し、本運動が地域活動の担い手となっている」ことを掲げています。

本ハンドブックでは、全国の団・地区・県連盟ですでに行われている地域とのさまざまな連携を紹介し、「自分たちの地域では、誰と、何ができるだろう？」と考え、新たな一歩を踏み出すためのヒントを届けることを目的としています。

募集のテーマ

地域、学校、企業、行政、NPO・各種団体などと連携して行っている取組事例

応募期間

2026(令和8)年9月10日(木)～ 10月5日(月)

応募方法

応募フォームから、取組の概要をお知らせください。

応募フォーム：<https://forms.gle/QGC8DmryTYGAB19c6>

対象

全国の団・地区・県連盟

※規模の大小や実施年数は問いません。

募集内容

団・地区・県連盟が、地域のさまざまな主体と関わりながら行っている取組を募集します。

- ・企業とのプログラムづくりや活動協力
- ・学校・大学等との連携
- ・自治体との協働
- ・自治会、町内会、地域団体等との取組
- ・社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO 等との連携
- ・防災、環境、福祉、まちづくり等の地域課題に関する活動
- ・地域のお祭りやイベントへの参加から発展した取組
- ・スカウトの技能、人材、施設、ネットワーク等を地域で生かした取組
- ・その他、「地域との新しいつながり」が生まれている取組

応募フォームへの入力事項

- ・応募者について（県連盟名／地区名／団名／氏名／役務／連絡先）
- ・取組の名称（正式名称がない場合は仮称でも構いません）
- ・連携している相手（企業、学校、自治体、NPO、地域団体、住民など）
- ・取組の概要（「誰と、何をしているのか」がわかる程度に、200～400 字程度）
- ・取組を始めたきっかけ（どのような課題や出会いから始まったのか）
- ・取組の特徴・工夫していること（連携を進めるうえで工夫したこと、役割分担、継続のための仕組みなど）
- ・取組によって生まれた変化や成果（スカウト・団だけでなく、連携先や地域にどのような変化があったか）
- ・他の団・地区・県連盟に伝えたいこと（これから同じような取組を始める人へのヒント、失敗談など）
- ・写真・資料の有無（活動写真、チラシ、ウェブサイトなど。）

その他

- ・応募いただいた事例の中から、社会共創委員会において掲載事例を選定します。
- ・地域、連携相手、取組分野等のバランスを考慮して掲載事例を決定する場合があります。
- ・ご応募いただいた事例やデータは、紙面の都合等によりハンドブックに掲載されない場合もございます。あらかじめご了承ください。なお、掲載に至らなかった場合でも、いただいた情報は当委員会における今後の事業運営等の貴重な参考とさせていただきます。

以上

「地域連携ハンドブック2026(仮称)」掲載事例の募集について

日本連盟社会共創委員会では、2026年11月発行予定の「地域連携ハンドブック2026(仮称)」の編集を進めています。

日本連盟中長期計画重点施策1-1-1では、2032年までに目指す姿として、「地区、県連盟には、地域連携を担当する委員会(者)が設置され、特に地域や学校、企業との連携を構築し、本運動が地域活動の担い手となっている」ことを掲げています。

本ハンドブックでは、全国の団・地区・県連盟ですでに行われている地域とのさまざまな連携を紹介し、「自分たちの地域では、誰と、何ができるだろう?」と考え、新たな一歩を踏み出すためのヒントを届けたいと考えています。

そのヒントは、すでに全国各地で行われている実践のなかにあると考えています。そこで、地域、学校、企業、行政、**NPO**・各種団体などと連携して行っている取組事例を募集します。規模の大小や実施年数は問いません。「まだ始めたばかり」「試行錯誤している」という取組も歓迎します。

応募期間

2026年9月10日(木)～10月5日(月)

応募いただきたい取組

団・地区・県連盟が、地域のさまざまな主体と関わりながら行っている取組を募集します。

- 企業とのプログラムづくりや活動協力
 - 学校・大学等との連携
 - 自治体との協働
 - 自治会、町内会、地域団体等との取組
 - 社会福祉協議会、社会福祉法人、NPO等との連携
 - 防災、環境、福祉、まちづくり等の地域課題に関する活動
 - 地域のお祭りやイベントへの参加から発展した取組
 - スカウトの技能、人材、施設、ネットワーク等を地域で生かした取組
 - その他、「地域との新しいつながり」が生まれている取組
-

応募内容

応募フォームでは、次の内容をお知らせください。

1. 応募者について
県連盟名／地区名／団名／氏名／役務／連絡先

2. 取組の名称
正式名称がない場合は仮称でも構いません。
 3. 連携している相手
企業、学校、自治体、NPO、地域団体、住民など
 4. 取組の概要
「誰と、何をしているのか」がわかる程度に、200～400字程度
 5. 取組を始めたきっかけ
どのような課題や出会いから始まったのか
 6. 取組の特徴・工夫していること
連携を進めるうえで工夫したこと、役割分担、継続のための仕組みなど
 7. 取組によって生まれた変化や成果
スカウト・団だけでなく、連携先や地域にどのような変化があったか
 8. 他の団・地区・県連盟に伝えたいこと
これから同じような取組を始める人へのヒント、失敗談など
 9. 写真・資料の有無
活動写真、チラシ、ウェブサイトなど
※応募時点での提出は任意でもよいと思います。
-

掲載事例について

応募いただいた事例の中から、社会共創委員会において掲載事例を選定します。

選定にあたっては、取組の規模や「成功度」だけではなく、

地域との関係がどのように生まれたか／互いの強みをどのように生かしたか／地域やスカウト運動にどのような価値が生まれたか／他地域でも参考にできるポイントがあるか

などを重視します。

また、地域、連携相手、取組分野等のバランスを考慮して掲載事例を決定する場合があります。

応募から掲載まで

STEP 1 事例を応募

9月10日～10月5日

応募フォームから、取組の概要をお知らせください。

STEP 2 掲載事例の決定

10月9日ごろ

社会共創委員会から、掲載の可否をご連絡します。

STEP 3 原稿作成・ヒアリング

10月9日～10月30日

掲載事例については、次のいずれかの方法で記事を作成します。

- 所定の様式に沿って原稿をご執筆いただく
- Zoom等で社会共創委員会がお話を伺い、委員会で記事を作成する

いただいた原稿についても、冊子全体の構成や表記を整えるため、社会共創委員会で編集させていただきます。

STEP 4 内容確認・掲載

編集した記事は、原則として掲載団体・応募者に内容をご確認いただいたうえで掲載します。